

園芸科学科便り

前期便

園芸科学科って、どんな学科？何をやってるの？って、質問をよくされます。農業科学科は、農業を学べる。食品科学科は、食品を扱っている。生活科学科は、家庭関係の資格をたくさん取れる。などのように、他の学科は分かりやすく、イメージも定着しています。しかし、園芸科学科って、名前だけではイメージしにくい・・・実際、どんなことを学べるのか分からない・・・だったら、もっとアピールしなければ！というわけで、これから園芸科学科便りを通じて、学科の特色を紹介していきたい思います。まずは、上半期の活動の様子です・・・

《植物バイオテクノロジー部門》



クリーンルーム（無菌室）で実験中。アスパラガスの茎頂を摘出します。小学校に行って先生になるときも。

《微生物部門》



天然酵母をシャーレで増やしました。増えているか顕微鏡で確認。こんな小さい微生物が大活躍！

《環境部門》



原木にキノコのタネを植えています。キノコの発生実験をしてきました。キノコの成分増強を学会で発表！

《草花部門》



種まきから管理、販売まで実施。 アレンジメントも学びます。 外部講師に教わり資格取得も。

《その他》



マツ炭を用いた花火作りを見学。 日本酒に関わる授業を体験。 ときには栽培実習も行います。

この他にも、生物工学科による「田沢湖生態系復活の研究」や花卉部による「エシィブルフラワーの研究」の発表が東北大会で優秀賞を獲得しました。初級バイオ技術者認定試験では、9割以上が合格しました。また、進路では早速、日頃の研究成果をフレゼンし、秋田大学に合格しました。このように、園芸科学科はとっても元気です！これから下半期の生徒の活躍も引き続きご紹介したいと思います。

《昨年度の進路》

平成31年3月に卒業した生徒は、学科名こそ生物工学科であり、最後の生物工学科の卒業生となりましたが、学習内容は、現在の園芸科学科と同様のカリキュラムとなっていました。そこで、進路先など参考になればと思い、学習内容に関連する主な進路先をご紹介します。

秋田県立大学

植物バイオを学んだ生徒が植物の可能性を探りに、より高度な学習を求めて進学しました。

八戸工業大学

バイオテクノロジーを工業的な視点から学び、農業の発展に貢献しようと考え進学しました。

農事組合法人たねっこ

実習を通じて農作物の栽培管理にやりがいを感じ、現在、花や野菜の栽培を担当しています。

出羽鶴酒造

微生物の授業や課題研究で発酵について関心を強め、その知識・技術を生かすため就職しました。